

『ぼくのおひめさま 人魚姫 灰かぶり』  
今日マチ子 文・絵 やくしまるえつこ 朗読 パイ・インターナショナル 2012

今年の1冊、わたしは今年の6月に図書館に入ったこの1冊です。

今日マチ子さんの絵も、やくしまるえつこさんの歌声もわたしはどちらも前から大好きで、その大好きな二人のコラボした本ということもあって、とてもお気に入りの本になりました。

今日マチ子さんが描く淡くはかない絵と、やくしまるえつこさんのウィスパーボイスのささやきの組み合わせは最強です！（私得です！）

今日マチ子さんにしか書けない独特な世界観と絵に吸い込まれます。

美しくもあり残酷な、全く新しい現代の人魚姫とシンデレラのおはなしです。

今日マチ子さんが描く女の子と男の子の絵がわたしは特に好きです。

絶妙な距離感と雰囲気 たまらなくきれいでながめているだけでドキドキします。

セリフもないし、動いてないけれど、絵から人物の感情やその場の雰囲気があふれています。

いい意味でなまなましい、それが今日マチ子さんの魅力だとわたしは思います。

この本にはCDがついており、朗読を担当しているやくしまるえつこさんは相対性理論のメンバーでもあり、ソロとしても活躍されている歌手です。

やくしまるえつこさんのウィスパーボイスは息遣いと

声のトーンがとてもきれいでたまらなく心地よいです。

この今日マチ子さんの世界観と見事にマッチしています！

今年はそんなだいすきなふたりに包まれたこの本で1年を終えようと思います。（正路）